【水豐にて坂本特派員發】

めにすんぐ」に打ちのめされた世界のこと」てその釈迦舞りは歌声に聴うるものがあり、节七日の是珍失戦の戦は、早くもこの方廊の跡に何力なる前級歌談をもつて北上方瞰に新作戦を戦闘、着々戦場を職人中である。『歌はすでに禁止および恵江方 賦において我が譲のた

果代人日回題。 海難作戦に呼酬して南支郎江県北方郎に善出、郷門に郷を推進義。第中の留支郎は島づく賜も果サ八日回題。 南文章 廿八日 正午發表。―畝は九月廿四日は來北北方郎に大旅郷作戦を實立中な

敵軍忽ち潰亂遁走す

水豊發電所の完

## 長沙完全に占領 更に敗敵を急追 粤漢線東方に大殱滅戦

西、第世

水路を啓開

心臓を緩解、同方面を

氣心中央突破

見事に敵の裏をかく

大自然を制壓

主たなかった

獨軍冬季作戰 も繼續せん

【ペルリン廿七日同盟】ドイツ

區に同軍主力を捕捉壯烈なる大殲滅戦を展 圏が変調した職等、今村の各職は共八日朝来同河南岸 東方に潰亂しつゝあり、 #ゼロ+後、 檀然新近上

東側地區を急追中であるに歌方をつて城内南勢行うともに主力は粤漢線

潰走の敵粉

・猪癬、森田、杏、小浦での地

他の部隊は廿七日優林・江北郎

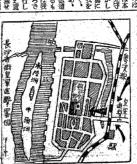
されたは一つの理点

本なく年間楊逵であるのみないず、その褶寄に接するとぼし髪音なぞまに心を接ぎされる。これは無能的人の要請なる時疎が常に額ましておる故につつかる時、以て範として三韻すべきは此の疲害であらう。 A 5 判 III 10員 安徽縣市畿 裕入・名巻定置三韻入〇鍵 送砕十一個 A 5 判 III 10員 安徽縣市畿 裕入・名巻定置三韻入〇鍵 送砕十一個

アラン著鈴木・清澤 定関一関八〇頻終料十五線 の現代の現代を開いる。 の別の別の別が料十五線

市街は死の街の如く不氣味な靜寂の中にしづみ糭々市街に進駐せる友 軍各部隊は同地の殘突入部隊の果敢な猛攻により、流石の頑敵も深更に至り漸く潰亂終熄し硝 煙立罩むる長沙毘娑にて廿七日同盟』燃えさかる長沙市街に展開された壯絶極まりなき夜間市街戦も我が

## 隊部○○るす進驀へ沙長路一はかのもも流激 支那派遣軍報 道部長談 (中书日中 北江方面に新作 思ふ存分に殲滅せん





寄興せば幸甚 國防國家建設に 長社口野

高すものは日曜一県一心 と ・ これ質値八鉱 三子の大



## 劃期的な大事業 蔡滿洲國經濟相祝辭

胸間に跳かして出迎人一同に 響手の響をな

國境障壁を除去

辭祝督總南

日滿經濟發展心貢献

第く硫解の重要中心地震に浸電し | れるは重要開發の 進度に 一大原

第1回配本 **風蘭**々· 望郷

時前士郎の「石田三成」は徳しい小説である。私は私近これを領え返して夜の駒げ、氏崎士郎の「田田」成、は徳しい小説である。 紅田の変物集社、「昭寺」の版物をさながらに帰ってみる。 質いて、これは親兄小説における彼の「人生劇場」である。 (春山、鹿りおいて、これは親兄小説における彼の「人生劇場」である。 (春山、鹿りおいて、これは親兄小説における彼の「人生劇場」である。 (春山・鹿りおいて、これは親兄小説における彼の「人生劇場」である。 (春山・鹿り

第三回配本 諷刺短篇集 第三回転本本る日來る日

機管東京二九六三九番と「凡」に

第四回配本 第五卷 配本開始! 配本毎に歌々物夢い人類だー 関係性と必持の助な、酸と素質の自然を表現しているの情報を で、これでは、一般の対しているの情報を 関し、類し高い、動しまで、これで、これで、関係など、日本の情報を 別し、類し高い、動しまで、これで、これで、関係など、日本の情報を 別し、類し高い、動しまで、これで、これで、関係など、日本の情報を 別し、類し高い、動しまで、これで、これで、関係など、日本の情報を 別し、類し高い、他ので、これで、これで、これで、同様にの作品が最

尾崎上郎選集。主語

ランケ著 溝邊龍雄器 BH90一大九員・第眞二張地國一張

白水社 新刊》版 出版日錄送星 顯然時間 語 解

吉江喬松全集第三回配本

各機關を總動員

下旬より九月上旬と毎期一一人一日 一チゲ薫刈の断行

水も漏らさの指導阿

間の製御の総集は程だ自給関料の不足を告げつこある一万、時間

山野草と厩肥で 自給肥料の増産

【威輿】増米計器と一六、一度とし五年後これが計量元 五ケ年計畫を樹立

歴勢を整へてゐる、これが増重運

増産目標を確立

堆肥の確保を圖る

百五十貫

海黃

灰肥、液肥の利用期す 百棟新設

五ケ年計畫を貫徹

専任技手を増員

皮膚炎派 性病科 医療機工 腹隔 9 +



運搬蒐集合理化

十萬賦の自給的称を | の最後とする第二回増産運動は本 部落聯盟を總動員

より

速成增產 本年から積極化

門 1、林檎園の新想を 林檎園經營に就て

牛原皮製革手續

門の機能組製造の将来性ならいに原料紙の・電船・状況(受験

卒が學中にパツ

就て 央會分

総は形分

堆肥增産に凱歌學る することとなってゐる し十月を待って一齊播雕を 員願

目標既に突破

底力を發

緑肥湿子の

自給自足 濃厚指導に大量

以つて第二次自給肥一、堆肥小年次計激に必るが平度

京城岡崎町中根機械合名會社中野溪灣灣山地域域合名會社



汽機汽罐高壓喞筒土木建築鐵工用機械

◇。來出業

圓二十錢。全學

事 卒業が出來る

獨學時

へ 黒木時 であらば暦 下さい湯 下さい湯

正 則

Å.

150



安倍未二人は雪江さんと共にダム

、この盛儀を一目主人に

参列の安倍未亡人は語る

血を翳して日滿萬歳 、ゴオン唸る轟音を肴に

虎の如き信念、産報生みの親

渡御式延期京城神社の

員の活躍は目覚しかった

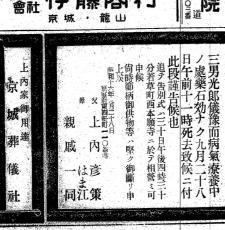
「川地方、晴れ一時船の運転地方、船の後隔れ けふの大系

モルモット死なず 興安丸のガス中毒事件調査の

【寫眞二(上)は水豐發電所の記念式典場 (下)は記念式典に参列 祝杯を舉げる

所面洪 1188 11 m 9:199.4 電影革トニク 可多族 醫學與土小村榮三 店理代榜解朝 店 藥 島 北 世紀末 三川本母成原







國の 対ける。 七人 皇馬病 (本)) (本))) 道



懸さ視察する南總督

十月常會」は有意義に

||検装や三味太鼓いお余り購き

朝鮮窒素肥料株式會社

噫、式場に黑枠の額

碧空を截る高壓線

世紀のほ業隂の功勞者安倍氏

この住き日今は亡し

組んで名高い鵬緑江の屋

水鹽發電記念式器行に際してけ

氏に感謝狀 功勞者廿二

---

(中) 選挙 総権・政権権が選挙 へ 左記書類で記録・提出人(中) 選挙権・政権・権利十日、二十日、当十日、常所に次テ之ヲ・建(例)方法

所

